

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2024年2月28日）	
運用方針	米国の投資適格債券市場の動きを捉えることをめざすブルーームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド（ベビーファンド）	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年4回、原則として、3月、6月、9月および12月の各20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

# 運用報告書（全体版）

第4作成期

第7期（決算日 2025年9月22日）

第8期（決算日 2025年12月22日）

## SBI・iシェアーズ・ 米国総合債券インデックス・ ファンド（年4回決算型） （愛称：サクっと米国総合債券（分配重視型））

追加型投信／海外／債券／インデックス型

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド（年4回決算型）（愛称：サクっと米国総合債券（分配重視型））」は、2025年12月22日に第8期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00～17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率		
第1作成期	(設定日) 2024年2月28日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 257
	1期(2024年3月21日)	10,094	0	0.9	10,093	0.9	99.0	454
	2期(2024年6月20日)	10,638	75	6.1	10,744	6.5	99.1	780
第2作成期	3期(2024年9月20日)	9,984	60	△5.6	10,150	△5.5	99.5	969
	4期(2024年12月20日)	10,550	75	6.4	10,830	6.7	98.6	1,103
第3作成期	5期(2025年3月21日)	10,161	75	△3.0	10,519	△2.9	99.3	1,045
	6期(2025年6月20日)	9,875	75	△2.1	10,276	△2.3	99.3	1,068
第4作成期	7期(2025年9月22日)	10,297	80	5.1	10,820	5.3	99.3	1,467
	8期(2025年12月22日)	10,922	90	6.9	11,597	7.2	99.1	1,666

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注5) ベンチマークはブルームバーグ米国総合債券インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注6) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注7) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率
			騰落率		騰落率	
第7期	(期首) 2025年6月20日	円 9,875	% —	10,276	% —	99.3
	6月末	9,905	0.3	10,313	0.4	98.5
	7月末	10,218	3.5	10,645	3.6	98.5
	8月末	10,182	3.1	10,611	3.3	98.8
第8期	(期末) 2025年9月22日	10,377	5.1	10,820	5.3	99.3
	(期首) 2025年9月22日	10,297	—	10,820	—	99.3
	9月末	10,334	0.4	10,861	0.4	97.7
	10月末	10,757	4.5	11,316	4.6	98.6
	11月末	11,002	6.8	11,579	7.0	98.8
	(期末) 2025年12月22日	11,012	6.9	11,597	7.2	99.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) ベンチマークはブルームバーグ米国総合債券インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

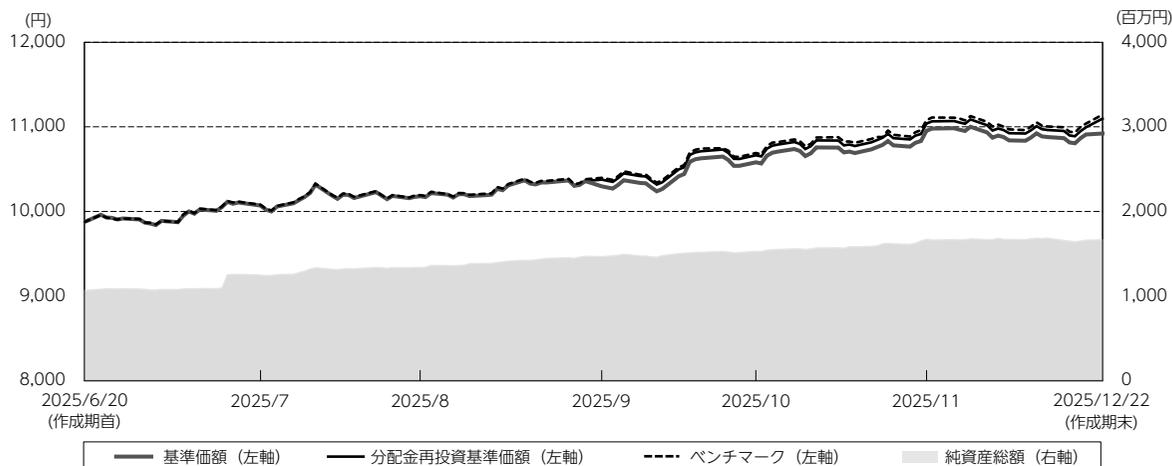
ベンチマーク：ブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）

ブルームバーグ米国総合債券インデックスは、投資適格の米ドル建て固定金利課税債券市場のパフォーマンスを測定する指数です。

なお、ブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）は、ブルームバーグ米国総合債券インデックスをもとに、委託会社が円換算したものです。

## ■ 当作成期の運用状況と今後の運用方針（2025年6月21日から2025年12月22日まで）

### ○ 基準価額等の推移



第7期首： 9,875円

第8期末： 10,922円（既払分配金（税込み）：170円）

騰落率： 12.4%（収益分配金再投資ベース）

(注1) ベンチマークは、ブルームバーグ米国総合債券インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、作成期首（2025年6月20日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注4) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注5) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年6月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注6) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

### ○ 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・日米金利差に着目した為替市場のドル高

#### 下落要因

- ・米国のインフレ高止まりによる米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げペース鈍化
- ・米国債の格下げによるリスク回避の強まり
- ・日銀の利上げに伴う為替市場の円高

## ○投資環境

---

### <米国債券市場>

先進国債券市場を代表する米国債券市場、特に米国10年国債（長期金利）の動きを見てみます。作成期初はインフレの高止まりとトランプ関税の物価への影響が懸念され、4.3%台で始まりしました。ただし、2025年8月初旬の雇用統計で雇用の減速ペースが示され、米国景気の先行き懸念から株価が急落すると、長期金利は低下基調に転じました。その後のジャクソンホールでのパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の講演で利下げが示唆され、実際に9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で利下げが決定されました。10月には政府機関閉鎖となり、FOMCで追加利下げも決定されると長期金利は4%割れまで低下しました。その後、11月に政府機関閉鎖が解除されると、債券市場も落ち着きを取り戻し、金利はやや上昇しました。12月のFOMCでは予定通り利下げが行われたものの、先行きに関しては慎重姿勢を示したこともあり、4.1%台の水準で作成期末を迎えました。

### <外国為替市場>

当作成期、米ドル/円相場はドル高となりました。前作成期の2025年4月初旬にトランプ米大統領が相互関税を発表すると、140円前後まで円高が進んでいましたが、市場の混乱を受け、トランプ大統領が市場に配慮した姿勢を示すと米ドル/円相場は一進一退の動きで始まりしました。その後も7月に日米の関税交渉が合意したものの、米国雇用統計の悪化と関税のインフレへの影響の綱引きとなり横ばいで推移しました。10月以降は、米国のインフレ懸念は根強く、ドル買いが優勢となり、また、日銀の利上げに懐疑的な姿勢を示していた高市氏の首相就任でドル高基調が続きました。その後、12月のFOMCでは予定通り利下げが行われたものの、先行きに関しては慎重な姿勢を示したこともあり、1ドル157円近辺で作成期末を迎えました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### <当ファンド>

主要投資対象であるSBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

### <SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド>

ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、投資適格の米ドル建て固定金利課税債券市場の動きを示すブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・ファンド・アドバイザーズが運用を行う「iシェアーズ・コア米国総合債券市場ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

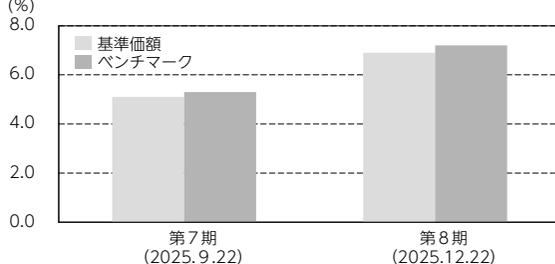
なお、当作成期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。作成期末の組入比率は98.3%となっております。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

作成期中における分配金も考慮した基準価額は+12.4%となり、ベンチマークである「ブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）」の騰落率である+12.9%を概ね0.5%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



(注) ベンチマークはブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）です。詳細はP1をご参照ください。

## ○分配金

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向などを勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期	第8期
	2025年6月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年12月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	80 0.771%	90 0.817%
当期の収益	80	90
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	658	1,171

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き、主要投資対象である『SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド受益証券』を高位に組入れます。

### <SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド>

主としてETF(上場投資信託)への投資を通じて、米国の投資適格債券へ実質的に投資し、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果をめざします。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月21日～2025年12月22日)

項 目	第 7 期～第 8 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	円 3 ( 1 ) ( 1 )  ( 1 )	% 0.032 (0.012) (0.012)  (0.008)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 )	5 ( 1 )  ( 1 ) ( 3 )	0.045 (0.006)  (0.014) (0.026)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	8	0.077	
作成期中の平均基準価額は、10,399円です。			

(注 1) 作成期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

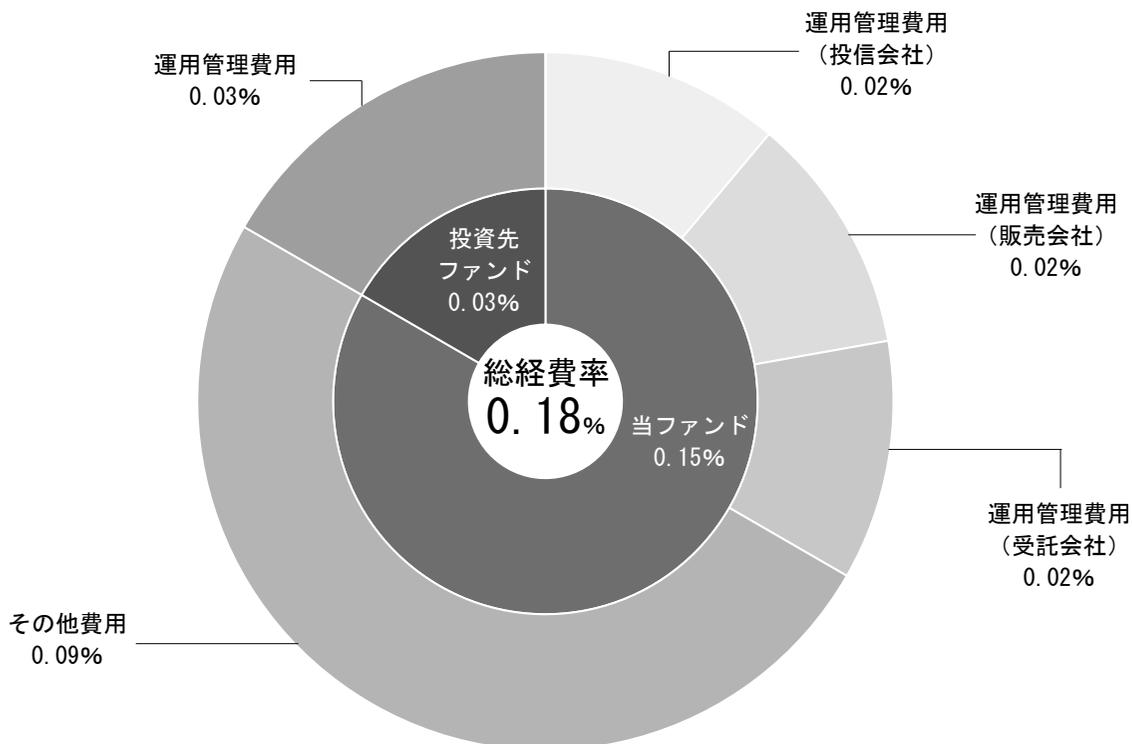
(注 4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）**は**0.18%**です。



総経費率 (①+②)	0.18%
①当ファンドの費用の比率	0.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年6月21日～2025年12月22日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第7期～第8期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド	627,684	737,460	254,039	302,980

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年6月21日～2025年12月22日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年12月22日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄 名	第3作成期末	第4作成期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド	964,936	1,338,581	1,680,589

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2025年12月22日現在)

項 目	第4作成期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド	1,680,589	100.0
コール・ローン等、その他	629	0.0
投資信託財産総額	1,681,218	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建て純資産(13,513,149千円)の投資信託財産総額(13,699,844千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、12月22日における円換算レートは、1ドル=157.62円です。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第7期末	第8期末
	2025年9月22日現在	2025年12月22日現在
	円	円
(A) 資産	1,479,919,489	1,681,218,845
コール・ローン等	20,469	19,280
SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド(評価額)	1,479,439,020	1,680,589,565
未収入金	460,000	610,000
(B) 負債	12,404,569	15,137,294
未払収益分配金	11,401,584	13,728,370
未払解約金	457,960	598,744
未払信託報酬	209,821	252,125
その他未払費用	335,204	558,055
(C) 純資産総額(A-B)	1,467,514,920	1,666,081,551
元本	1,425,198,107	1,525,374,455
次期繰越損益金	42,316,813	140,707,096
(D) 受益権総口数	1,425,198,107口	1,525,374,455口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,297円	10,922円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

作成期首元本額	1,081,979,958円
第7～8期中追加設定元本額	725,298,843円
第7～8期中一部解約元本額	281,904,346円

## ○損益の状況

項 目	第7期	第8期
	2025年6月21日～2025年9月22日	2025年9月23日～2025年12月22日
	円	円
(A) 有価証券売買損益	61,167,099	98,691,061
売買益	64,630,254	107,889,955
売買損	△ 3,463,155	△ 9,198,894
(B) 信託報酬等	△ 545,025	△ 474,976
(C) 当期損益金(A+B)	60,622,074	98,216,085
(D) 前期繰越損益金	△33,115,496	14,195,051
(E) 追加信託差損益金	26,211,819	42,024,330
(配当等相当額)	( 68,215,521)	( 78,926,109)
(売買損益相当額)	(△42,003,702)	(△ 36,901,779)
(F) 計(C+D+E)	53,718,397	154,435,466
(G) 収益分配金	△11,401,584	△ 13,728,370
次期繰越損益金(F+G)	42,316,813	140,707,096
追加信託差損益金	26,211,819	42,024,330
(配当等相当額)	( 69,439,751)	( 79,967,406)
(売買損益相当額)	(△43,227,932)	(△ 37,943,076)
分配準備積立金	24,383,211	98,682,766
繰越損益金	△ 8,278,217	-

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第7期計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,946,955円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(69,439,751円)および分配準備積立金(23,837,840円)より分配対象収益は105,224,546円(10,000口当たり738円)であり、うち11,401,584円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

(注5) 第8期計算期間末における費用控除後の配当等収益(18,842,149円)、費用控除後の有価証券等損益額(72,077,454円)、信託約款に規定する収益調整金(79,967,406円)および分配準備積立金(21,491,533円)より分配対象収益は192,378,542円(10,000口当たり1,261円)であり、うち13,728,370円(10,000口当たり90円)を分配金額としております。

「Bloomberg®」およびブルームバーグ米国総合債券インデックスは、Bloomberg Finance L.P. および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、SBIアセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはSBIアセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、本ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、本ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2025年12月22日現在）

### < SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド >

下記は、SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド全体（10,889,685千口）の内容です。

#### 外国投資信託証券

銘柄名	第3作成期末	第4作成期末			比率	
	口数	口数	評価額			
			外貨建金額	円換算金額		
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%	
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	782,233	853,635	85,226	13,433,466	98.3	
合計	口数・金額	782,233	853,635	85,226	13,433,466	98.3
	銘柄数<比率>	1	1	—	<98.3%>	

（注1）円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

（注2）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

（注3）評価額の単位未満は切捨て。

# 第2期 運用報告書

(決算日 2025年6月10日)

## SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンド

### 受益者のみなさまへ

SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・マザーファンドの第2期（2024年6月11日から2025年6月10日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、投資適格の米ドル建て固定金利課税債券市場の動きを示すブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行います。
主要投資対象	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		期中 騰落率		
(設定日) 2023年6月8日	円 10,000	% —		% —	% —	百万円 240
1期(2024年6月10日)	11,440	14.4	11,507	15.1	98.9	9,426
2期(2025年6月10日)	11,034	△3.5	11,106	△3.5	98.5	11,262

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) ベンチマークはブルームバーグ米国総合債券インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券 組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首) 2024年6月10日	円 11,440	% —		% —	% 98.9
6月末	11,843	3.5	11,918	3.6	98.7
7月末	11,363	△0.7	11,429	△0.7	98.6
8月末	11,037	△3.5	11,099	△3.5	98.8
9月末	11,019	△3.7	11,086	△3.7	99.0
10月末	11,529	0.8	11,616	0.9	98.9
11月末	11,387	△0.5	11,470	△0.3	98.6
12月末	11,751	2.7	11,845	2.9	98.6
2025年1月末	11,588	1.3	11,680	1.5	98.9
2月末	11,406	△0.3	11,505	0.0	98.5
3月末	11,448	0.1	11,517	0.1	98.6
4月末	10,996	△3.9	11,055	△3.9	98.6
5月末	10,989	△3.9	11,048	△4.0	98.2
(期末) 2025年6月10日	11,034	△3.5	11,106	△3.5	98.5

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマークはブルームバーグ米国総合債券インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

ベンチマーク：ブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）

ブルームバーグ米国総合債券インデックスは、投資適格の米ドル建て固定金利課税債券市場のパフォーマンスを測定する指数です。

なお、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(円換算ベース)は、ブルームバーグ米国総合債券インデックスをもとに、委託会社が円換算したものです。

## ■ 当期の運用状況と今後の運用方針（2024年6月11日から2025年6月10日まで）

### ○ 基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首11,440円から始まったあと、期末には11,034円となりました。期を通じて騰落率は△3.5%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2024/6/10	2024/7/11	2025/4/22	2025/6/10
基準価額 (円)	11,440	11,932	10,675	11,034

## ○投資環境

---

### <米国債券市場>

米10年国債利回りは、2024年9月までは金利低下局面、9月以降は金利上昇局面となり、期を通じて横ばいになりました。期が始まった直後の7月はCPIが想定以上に下振れするなど米国の経済指標は弱く、金利は低下基調となりました。8月には米国の雇用統計が市場予想を大きく下回り、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエルFRB議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下しました。そして、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）での金融緩和策により、長期金利は3.6%近辺まで低下し、債券市場は上昇しました。その後、米国経済の底堅さを示す経済指標に加え、トランプ氏の米大統領選挙での優勢が報道されると、金利は上昇基調に転じました。さらに11月上旬、トランプ氏の勝利が確定的になると、財政拡大政策が米国経済を後押しするとともに、財政赤字が拡大するとの思惑から米国金利が上昇基調を強めました。その後、年明け以降はトランプ政権の関税政策による景気減速懸念が意識され、長期金利は低下に転じました。しかし、2025年4月2日にトランプ大統領が、相互関税、全世界一律10%、日本や中国の関税引き上げを発表すると、関税による米国のインフレ懸念が強まり、金利は上昇トレンドとなりました。その後、金利は一進一退の動きとなり、米10年国債利回りは通期で見るとほぼ横ばいの4.4%近辺の水準で期を終えました。

### <外国為替市場>

当期、米ドル円相場は期を通じて、円高水準となりました。期初から157円近い円安水準で始まりましたが、2024年7月初めに160円を明確に超えると、政府・日銀は為替介入を実施し、円高傾向に転じました。8月には米国の雇用統計が予想以上に悪化したことで、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエルFRB議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下し、円高局面となりました。9月中旬には140円を割り込む水準まで円高が進みました。ただし、10月以降は堅調な米国の経済指標から追加の大幅な利下げ観測が後退する中で、米長期金利が上昇に転じる一方、日本の長期金利は日銀の慎重姿勢もあり緩やかな上昇にとどまったことで、再び日米金利差に着目したドル買いが優勢となりました。11月上旬の米大統領選挙でトランプ氏が勝利するとドル買いが強まり、2025年1月には158円台を付けました。その後、トランプ政権の関税政策による景気減速懸念が意識され、長期金利は低下に転じたことと、日銀が金利を引き上げたことから、やや円高傾向となりました。4月初旬にトランプ米大統領が相互関税を発表すると、リスクオフの動きが強まり、140円前後まで円高が進みました。市場の混乱を受け、トランプ大統領が一部関税の延期を発表するなど緩和的な姿勢を示すと、ドルが買い戻され、145円前後で期を終えました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

---

ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、投資適格の米ドル建て固定金利課税債券市場の動きを示すブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・ファンド・アドバイザーズが運用を行う「iシェアーズ・コア米国総合債券市場ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.5%となっております。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

---

期中において基準価額及びベンチマークである「ブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）の騰落率はともに△3.5%となりました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

## ○今後の運用方針

---

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、米国の投資適格債券へ実質的に投資し、ブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざします。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年6月11日～2025年6月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	円 —	% —	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.012 (0.012)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	1	0.012	
期中の平均基準価額は、11,363円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2024年6月11日～2025年6月10日)

### 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	239,689	23,528	67,257	6,604
	小計	239,689	23,528	67,257	6,604

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年6月11日～2025年6月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年6月10日現在)

### 外国投資信託証券

銘柄名	期首(前期末)	当 期 末			比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	円換算金額		
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%	
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	614,480	786,912	76,645	11,091,331	98.5	
合 計	口数・金額	614,480	786,912	76,645	11,091,331	98.5
	銘柄数<比率>	1	1	—	<98.5%>	

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2025年6月10日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
投資信託受益証券	11,091,331	98.1
コール・ローン等、その他	217,524	1.9
投資信託財産総額	11,308,855	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(11,135,601千円)の投資信託財産総額(11,308,855千円)に対する比率は98.5%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル=144.71円です。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	11,320,576,011円
コール・ローン等	185,172,511
投資信託受益証券(評価額)	11,091,331,059
未 収 入 金	11,720,384
未 収 配 当 金	32,350,599
未 収 利 息	1,458
(B)負 債	57,593,683
未 払 金	32,893,683
未 払 解 約 金	24,700,000
(C)純 資 産 総 額(A - B)	11,262,982,328
元 本	10,207,799,284
次 期 繰 越 損 益 金	1,055,183,044
(D)受 益 権 総 口 数	10,207,799,284口
1万口当たり基準価額(C / D)	11,034円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>  
(貸借対照表関係)

期首元本額	8,240,352,563円
期中追加設定元本額	7,124,712,718円
期中一部解約元本額	5,157,265,997円
期末における元本の内訳	
S B I ・ i シェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド	9,249,496,520円
S B I ・ i シェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド (年4回決算型)	958,302,764円

## ○損益の状況 (2024年6月11日～2025年6月10日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	395,694,304円
受 取 配 当 金	394,331,019
受 取 利 息	1,363,816
支 払 利 息	△ 531
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 840,514,939
売 買 益	55,703,235
売 買 損	△ 896,218,174
(C)そ の 他 費 用	△ 1,346,247
(D)当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 446,166,882
(E)前 期 繰 越 損 益 金	1,186,586,647
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	1,032,737,282
(G)解 約 差 損 益 金	△ 717,974,003
(H) 計 ( D + E + F + G )	1,055,183,044
次 期 繰 越 損 益 金 ( H )	1,055,183,044

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF	米国の債券	ブルームバーグ米国総合債券 インデックス	0.03%	ブラックロック・ファンド・ アドバイザーズ

組入上位10銘柄	比率
UNITED STATES TREASURY	44.8%
FEDERAL NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION	11.4%
GOVERNMENT NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION II	6.0%
FEDERAL HOME LOAN MORTGAGE CORPORATION	5.6%
UNIFORM MBS	1.2%
JPMORGAN CHASE & CO	0.6%
GOVERNMENT NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION I	0.6%
BANK OF AMERICA CORP	0.6%
MORGAN STANLEY	0.5%
GOLDMAN SACHS GROUP INC/THE	0.4%

出所：ブラックロック・ファンド・アドバイザーズの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成  
 (注) 2025年3月31日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第2期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。